

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和3年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

□ 事業内容

国産木材活用コミュニティ活性化事業

・旭区民センタープレイルーム内に国産木材を使用したおもちゃや丸テーブル、棚を設置し広く利用者が木に触れ、その良さを実感する場を整備した。また、区主催イベントにおけるノベルティグッズを活用した啓発活動を実施した。

【事業費】1,540千円（うち譲与税1,452千円）

【実績】大型遊具1点、玩具15点、収納棚2点、丸テーブル4台
ノベルティ（スマホスタンド800個、ピンバッチ1,500個）

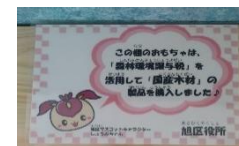


□ 事業スキーム

公募型比較見積

□ 工夫・留意した点

- ・プレイルームは小学生未満のお子様が遊ぶ場所であるため、おもちゃ等は無塗装か自然系木材保護塗装で、安全に配慮した製品を購入した。
- ・小さいお子様が保護者と一緒に遊びながら木に触れる機会となるよう、手先を使うおもちゃや乗り物など各種購入した。
- ・区マスコットキャラクターをデザインした表示物を作成、貼付することで、森林環境譲与税を活用していることをPRしている。



□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	236,228千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,752,412人
⑤林業就業者数（※4）	160人

※1、2：「2020年農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より、
※4：「H27年国勢調査」より